

ブレイクスルー思考による

“健康で幸せな”まちづくりシンポジウム

in 2nd World Congress on Thinking

拝啓 貴下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

健康で幸せに生活できる“まちづくり”は都市政策の究極の目的ではないでしょうか？

これまでの物質的なものから満足感を得ようとする価値観は、現在大きく変わろうとしています。ブレイクスルー思考（日本企画計画学会）は、過去の既成概念に縛られることなく、目的指向で問題を捉えて、市民や利用者のニーズや目的軸から解決策を組み立てていこうとする考え方です。このシンポジウムではそのような目的軸から生まれた、さまざまな健康で幸せなまちづくりの実践例を基調講演（講演概要は裏面も参照）して頂いた後、パネルディスカッションで議論を深めて頂きます。本シンポジウムは今後の新たなまちづくりの未来軸を考える上で、実績ある異色の講演者が集う充実した内容ですので、どなた様も奮ってご参加頂きたく存じます。

なお、このシンポジウムは日本企画計画学会が主催する世界会議のイベントとして開催されるので、世界会議の登録が必要です。詳しくは下記の申し込みをご覧ください。

敬具

記

■日時 2010年8月27日 13:30-17:20

■場所 中京大学 八事キャンパス（名古屋市昭和区事本町101-2）地下鉄鶴舞線か名城線5番出口すぐ

■プログラム

13:30-13:40	<会長挨拶・主旨説明>	日比野省三氏（日本企画計画学会会長）
13:40-16:00	<基調講演>	
13:40-14:10	“病気になるない”まちづくり	森谷敏夫氏（京都大学大学院教授）
14:10-14:40	「農都共生」による幸せなまちづくり	加藤梅雄氏（長久手町長）
14:40-15:00	「美輝の里」開発物語	小竹一成氏（元岐阜県職員、現民間高齢者介護福祉事業部長）
15:00-15:20	“ブレイクスルー思考による『みち・みず・みどりのネットワーク構想』について”	平尾高之氏（名古屋市緑政土木局主幹（企画））
15:20-15:40	“幸せってなに”	吉田一平氏（ゴジカラ村代表）
15:40-16:00	“健康なまちづくり”	和田耕太郎氏（ヘルス・マネジメント・コンサルタント代表）
16:00-16:10	休憩	
16:10-17:20	<パネルディスカッション>	
パネリスト（講演者は所属略）	森谷敏夫氏 加藤梅雄氏 小竹一成氏 吉田一平氏 和田康太郎氏 今井健氏（名古屋市緑政土木局総務課長）	
コーディネーター	藤田素弘氏（名古屋工業大学大学院教授）	

■参加予定者：学会関係者、行政関係者、一般参加者、学生 定員 200名

■シンポジウム参加申し込み方法：

下記ホームページより本会議登録を行ってください。このシンポジウムに参加のみの場合は、1日（27日）を指定してください。27日のみの参加の場合は 一般6000円、学生1000円です。

第2回世界会議「乱気流時代の思考」 http://www.btt.net.com/WorldCongress/index_j.htm

■講演概要：

基調講演は、予防医学の権威の森谷京大教授の講演からはじまり、田園バレー構想で農都共生を推し進める長久手町の取り組み、健康で幸せ感を満喫できる岐阜県美輝の里開発物語、ブレイクスルー思考を通してみち・みず・みどりの目的軸を見定めて築いたネットワーク構想（名古屋市緑政土木局）、雑木林の中にケアハウス、幼稚園、専門学校、温泉などが豊かに雑居するゴジカラ村が考える幸せ、健康の本質とは何かから考える健康なまちづくりの話からなり、講演者を交えたパネルディスカッションで議論を深めます。

■その他質問等（申し込みは受けません）

〒466-8555 名古屋市昭和区御器所 名古屋工業大学大学院創成シミュレーション工学専攻 藤田素弘
TEL 052-735-5492, E-mail: fujita.motohiro@nitech.ac.jp

■世界会議の全体プログラム概要

今回のシンポジウムは27日午後からですが、世界会議は25-27日の3日間、都市計画に関わらず、統合医療、経営工学、農業など様々な研究発表やワークショップが開催されていますので、ホームページよりご確認頂けます。もし他の日の発表も聞きたい場合は、そのように登録をお願いします。27日の登録をした場合は午後のシンポジウムとともに、午前中の研究発表も聞くことができます。27日午前の“健康で幸せなまちづくり”セッション：第1タームから3タームでは、ブレイクスルー思考の手順に沿った都市問題解決アプローチの研究発表を幾つか行っています。もしご都合よろしければ午前のセッションもみてください。



The 2nd World Congress On Thinking
Towards 21st Century Breakthrough Thinking & Integration Philosophy